【出前講座・遊水地現地見学】郡山市自治会連合会（令和7年11月19日）

〇郡山市自治会連合会「防災に関する研修」において、阿武隈川緊急治水対策プロジェクトの進捗状況や遊水地整備の効果に関する出前講座及び、上流遊水地群の整備予定地を案内する現地見学会を行うとともに、用地協議の進捗や堆積土砂への対応などについて意見交換を実施。

➢日　時：令和７年11月19日（水）１４：３０～１６：３０
➢会　場：鏡石町健康福祉センター「ほがらかん」、阿武隈川上流遊水地群
➢参加者：郡山市自治会連合会　８名、郡山市職員　２名、福島県職員　２名、鏡石町職員　１名
➢内　容：講　　座：阿武隈川における水害を軽減させる取組
講　　師：福島河川国道事務所　郡山出張所　所長　菊地　功
現地説明：福島河川国道事務所　阿武隈川上流緊急治水対策出張所　所長　小川　秀稔

＜参加者からの質問＞
・用地取得はいつまでかかるのか。
→令和10年度までの完了を目指して、地権者の方々と用地協議を進めている。
・遊水地完成まであと８年かかるとのことだが、その間に出水が起きたらどうするのか。
また、出水により土砂が堆積したらどうするのか。
→今後の出水に備えて、少しでも効果発現できるように事業を進めていく。
堆積土砂については河川の維持管理の中で対応していく。
・なぜ遊水地をこの場所につくるのか。
また、阿武隈川を直線化すればよいのではないか。
→もともと浸水常襲地区であり、過去の実績等も勘案し、現在の場所に整備を予定している。この地域は河川勾配が緩やかであり、流れづらいといった地形的特徴があることから、阿武隈川の直線化は考えていない。
・遊水地内の水田が浸水した場合の補償はあるのか。
→地役権方式と違い、本遊水地は全面買収方式となるため、底地は国の土地となることから補償という考え方はない。
＜参加者からの感想＞
・郡山市上流に遊水地を整備してもらえること、遊水地３町村（鏡石町、矢吹町、玉川村）に御協力いただいていることをありがたく思う。


▲出前講座の様子


▲遊水地現地見学の様子